

112 Maria Ode

# 奉祝天皇長節

本日茲に今上陛下第五十三<sup>老</sup>回の御誕辰を迎へさせられ、我々在伯同胞も等しく遙かに祖國を拝して、天壽無窮を祈願奉祝し奉る次第である。

恐れ多しことであるが今上陛下は第一二四代を数へ奉る歴代の君主中最も勝利給ふ英邁なる君主に在はしまし、又最も躬道く国民と相接し給ふた英君であらせられる。

時代の推移とは申せ、一夫萬乘の御位にありながら従来旧習を御自ら打破し給ふて親しく国民に鳳聲玉音を賜はり、國中率土の濱に至る迄御足を進め給ふことなど、特に我々海外に居住する者にとって感銘に價する朗報でなくてはあり。

今や世界平和の爲めに我等の陛下は平和を愛し、<sup>たま</sup>ふが故に陛下の御地位をさへ御自ら低うせられ、ひたすら国民を愛し睦み給ふと承る。我等海外に在る者は此の御仁慈深き陛下の爲めに、天晴れ日本の名に於て伯國の爲めに功献しなければ相濟まぬと思ふのである。

我等は総ての牆をとり、のそき日本人たるの自覚のもとに、よき協力者として伯國の發展隆盛に盡すことが、即ち我等の陛下への大御心に副ひ奉る所以であると信ずる。

菊の佳節に當り一言所信を披歴して祝辞に

代へる次第である

昭和二十七年四月十九日

バストス自治會長

石橋長児

みやまきりしま (天皇御製より)

高原にみやまきりしま美しく

むらがりさきで小島とぶなり

短歌

夫やめり

高井 愛子

死にゆくをかなしと云はず

ほのこし

むかしかたりてわづらなきさ

まづともわづらした不肖の吾子ありと

心たふか 病まらなごめ

わがすぎせかなりまかや君越けば

たゞ三人あり 吾子と二人と

今いちどきかまほしきわ かくまの

那智うぐいすと病又はいひきり

天長節

種痘無料奉仕

中央薬局

バストス市アネマル街一七四

西川 誠一

短歌

椰子樹より

小松 修水

媾和成る九月八日も常の如く

牛群移して牧焼き居たり

妻に子に老のたつきは持ぬとも

すでに老自いて夜も晝もなし (俳友鹿井 吐雁)

山本 秋 扇

夕食は吾娘の嗜好に逃へぬ

明日寄宿舍に送る街にて

五年振りに老母訪はむと妻と子と

はしやぎやうら自動車にのる

老母を訪はむ久しき希し今日なりて

齢四十の妻のはしやぎ

友等みな酔ふ卓に酒飲まぬ

吾はうつろに只家相むく 浅田 紙舟

とんだんの実はをぎきて冬の日の

今日も暮れゆく瓜ふくまゝに

ひもすがらがス烙接の作業する

我の臭を妻がいやがる

冬さびし 枯野は遠くかすみ居て

山家の煙たむびく夕べ

奉祝天長節

鶏卵委託販賣

並ニ 飼料

川内商會

聖市アニアンガバウ街一四四

電話三五、三四七一番

多少に不拘御用命の程

願ひ上じます

バストス支店

ハツキネカシアス街角 四〇三

岡本 一三

祝 天長節

南米銀行

バストス支店

郵 函 一 一 四 番

No. 215 BASTOS - 29-ABRIL-1952 O PROGRESSISTA Reg. 2.695 S. Paulo A.P.

# バスター週報

第百十五号  
昭和廿七年  
四月廿九日  
発行

登録名義人  
森 幸一  
発行所  
バスター自給  
C.P. 26

誌代  
一年 60.00  
外都 40.00

廣告取扱人  
落尾作市  
C.P. 76

編輯及印刷所  
バスター週報社  
C.P. 112

## 石黒在外事務所長講演(二)

於バスター産業會館(四月三日)

### 前承

吾々居留民は約一万人位で大使領事等と始めの皆一しよに捕虜となり大なる兵舎に入れられた。私は特殊の或る要件を持つて日本に帰ることになったがその時重慶側からヒコイ機を出して世界で任務を果して南京に戻つて来た。

東京に帰つた時、もう南京に戻るのは嫌であつたが仕方なく引返した。然るに引上げが逐北その后六月捕虜收容所に居た。それは兵舎用の所であつた。その時は各自で中を片付け疊を築きカミカミに染めて続々と入つたが自分でも何やら必死な気がつた。狭いので疊一丈に二人宛寝るのであつた。夜などは歩くと歩くと出まわつた。其捕虜生活の六月といふものは男にとつても苦しいものだつた。が女子供にとつては実に辛かつた。うで氣の毒であつた。不自由な生活中死んた人もあり蘇武も出まわつた。一隅に埋めたような有様であつた。愈々日本へ帰ることになつたと支那側から規則を出して荷物以外持ち出す事はなつた。又支那人に賣ることもなつたといふので着のみ着のみ、もてる丈のものを持て賣つた。皆打捨てて食料品と衣類のみか。いで歩いて停車場迄来た。汽車は無蓋車であつた。上海についた。雨が降つて随分難儀をした。然し吾々はまだよい方で奥地に居た人々は汽車もなく舟もなく何百里といふ道を歩いて帰つたのである。途中各所の支那軍と困難な外交をやり下り苦勞の旅をした人が多かつた。

斯くて私は半歳振りで日本に帰つたが日本は當時は悲惨な絶頂で食料不足に悩まされた。百姓は才だつたが都會人はひどかつた。之は食物は配給以外は何もない。賣るにも買ふにも物がなない。子供供のある家庭は一層苦しんだ。

## FAZENDAS CASAS PERNAMBUCANAS

FILIAES EM TODO O BRASIL



天皇御歌集  
みやまきりしまよ...より...  
淡路なるうみへの宿々朝雲の  
たなびく空をとほく見とけつ  
ゆめをめて我世をおもふあかつきに  
長なま鳥の声をきこゆる  
高とののうへよりみればうつくしく  
朝日にゆゆる沖のはつら

祝  
奉  
天長節  
バル中村  
バスター市 ポント デジネラ  
店主 中村 国政  
郵便 一〇二

急にお寒くなりました  
ラン、ネル、などの御用意はおなじみの  
カク  
バルナンブカラス

謹んで貴國の天皇陛下の御誕生日を御祝申上ります

日本人はどの家庭でも自分を犠牲にするのは母親である。自分やせ細つて子供に與へるのである。当時日本はマッカーサー軍に占領されていたが食料の援助を受けて辛じて生き長らへた程で今日に至る迄感謝の心で居る原因となった。勿論それは終戦直後の事で今ではすっかり事情はよくなって居る。皆せんがもし日本に帰られたらおそろく戦争の跡は何處にも見られず家も奇麗になつてあり商品も沢山並んであり工場は全力を挙げて生産に従事しており、食料も現在では不自由はない。買おうと思へば何でもあるが生活の程度収入が少いので品物が高くて買ふことが出来ない。実情である。東京大阪など表面は戦前同様に復興してようであるが一週間十日と返つ内に家庭の内情が判り戦前同様にない事が判りてあろう。吾々の感じでは戦前を仮りに百とすれば現在は七十で未だ三〇の不足であらうと思ふ。それと戦争の結果領土が狭く人口は戦前より増加し一年一五〇万増える十年には千五百万増加する現在六千八百万だが十年後には八十三百万となり其後此の勢で廻るなら領土は狭く人口は多いので一人一人が生活戦線に立つて不平を言はず復興に努力して困難な問題を承知で戦つて居る。戦後復興の早い事驚くばかり。日本人でなければ出来ないことで、それ以上は望めない望み得る最高の速度で復興して居るからである。次に世界の情勢を考へて見度い、日本が終戦以来一意専心経済復興以来情勢は大いに變つて来た。其れは大戰後ソ連と米國が正面衝突をするようになり講和條約締結の遅れたのもそれが爲りであつて日本側の不備ではない。日本は昨年九月講和を結んだがドイツオーストリア等には何の安否もよくいづ講和條約が結ばれるがさうは判りぬ、それに比べると日本は幸であつた。(以下次号)

節 長 天 祝 奉

千 歳 製 靴 店

街カシアスデキ市スバスト

番 三 〇 一 函 郵

奉 祝 天 長 節

謹んで東天を拝し

世界の平和と

人類の福祉を

祈り奉る

バストス市アテマルバロス街

梶 田 実 商 店

梶 田 敏 雄

梶 境 敏 雄

梶 大 塚 唯 雄

梶 田 実 雄

### お落し物 ?

去る四月十一日製糸會社のカミニオンがランシャリア街道を走って居るとラ市の敷キ口手前に大道の真中に大きなサツコが老依実棉を詰めたまゝ落ちて居たので拾つてもち帰った。多分同日ラ市の精棉工場へ出荷する途中誰か落したものであらう。紛失心当りの方は証據になるもの(會社の入荷タロンの如きもの)を持参の上、谷口主任のもとまで申出で下さい。但し引取り手なきときは合法的に處置いたしますと

奉祝  
天長節

金物一式  
電氣機具  
塗料

カサ玉スパンサ

ふじわり  
藤原金物店

バストス市街地  
アテマル・バロス街

郵画二八六番

天長節  
奉祝  
新津牛丸

桜さく日の出北國の天長は  
せき平和よとるされ給ひぬ

負けて獲つ國を日本よ  
神が平和を望むなりけり

### 古代

毎度御引立に預かり有難うござい  
ます。さて永らく藥店に手得つ  
て下さいました

大塚唯雄 氏は

今回ドッキエカシアス街一四三八番  
に野菜店を同業致しま  
した。何卒私同様御引立下さるよ  
う御願申上げます

梶田商店

奉祝 天長節

日本語教育の徹底いたしません  
今日、興味を以て勉強してく  
れる、よい本は何れと聞かれます  
それは

小學生 一年生より  
六年生まで

と云って各冊毎月よい先生がよい  
事を書いて下さるよい本です。  
是非可愛い子供さんの為めに御買  
求め下さい

軍行本 大量に到着いたしました  
雑誌

重道商店

奉祝  
天長節

呉服太物 帽子 洋品一式

杉英服店

バストス市街地 ドッキエカシアス角

杉 藤 介

奉祝 天長節  
哀れも思賜、病棟に新注進奉捧謹而聖壽無恙  
と皇室の御隆盛と祝詞奉る

奉祝歌  
今日のよき日は大君の 生れ給ひし良き日なり  
今日のよき日はみえり さいふ給ひし良き日なり  
二、光りあまねく君が代を 祝へ諸人 もろとも  
恵みあまねく君が代を 祝へ諸人 もろとも

萬病ニ卓効アル名灸々指壓療法  
血脈抗進症中風總テ動脈硬化症一功、長ラ  
フ、カラシ生活ノ方、胃腸病、カッケ、リョウマチ、神々  
痛、其他数々皆様方ニ何カト御相談相手ニ  
ナツテ見タイト存ジマス

バストス市カンポスサウス街三三七  
元バンテランテ養鶏組合事務所上三軒目  
菅原

日本からの手紙

受取人 差出人  
古賀廣市殿 佐賀 古賀清次  
田中国藏 鹿島 梶田とし  
田中国藏 末吉 S  
御心当りの方は植木商店迄  
至急 取りにお願い下さい

三月号ホトトギス入選句

拾て土地を拾ひ買ひて種を育く  
鰯居ると去ふて動かぬ渡し守  
熊野路の決木掃咲け目あり  
バストス 仙人孝子  
藤井 星光  
植木水仙子  
浦紀南子

川柳の高井四九老逝去

予ねて胃腸手術後特養中の高井和一氏は  
次第に衰弱して四月廿一日夜遂に不帰の客と  
なつた。享年満六十五歳。和歌山県出身。昭和  
九年十月バストスに直来。スウリア区桑本氏の  
世話にて同区前田氏に旅装を解いた。のちウニ  
オンエ区に入租。最近 セラリア事務所に執筆す  
る。近は犬野英雄氏の養鯉池構内にて野菜作り  
きやす傍り附近の子弟に日本語教授をして居た  
資性飄逸洒脱文藝に興味深く、ことに川柳に  
於ては風一家をなす。四九の柳名にてすでに後伯  
前に名をあげていた。老来洗骨と作句に世俗を  
忘れていたが郷党の手筈にそむいて他界した  
葬儀は廿二日ホリス教会告別式後墓池埋葬された

奉祝 天長節

進物用製菓園

古田 義松

アテマル バルロス街



寫真館

古田 正夫

高谷 幸一

バストス郵函 一七番

天長節

農産物仲買

園本 勲商店

バストス市ドッキネカシアス街

郵函 一八三番

奉祝 天長節

呉服太物並洋品一式

藤井 英服店

バストス市 プレシオンテ カルガス街

郵函 二〇番



# 天長節と 天皇御誕生日

けふのよき日は大君の  
 生れたまはしよき日なり  
 恵みあまぬき君が代を  
 御ぐけふこそたのしけれ

私達日本に生れ日本の小学校以上大学  
 迄およそ学生であった記憶の中にこの  
 「けふのよき日」の追憶のない人は一人もな  
 いでありませう。

それ程日本人は日本国民として日本の皇室  
 と密接な関係におかれて居ることを教  
 へられて来たのであります。そしてその  
 感情は今も尚心の全部を占めてゐると  
 言つても過言ではありますまい。

その事を批評家は日本民族の政治性  
 の缺如とか智性の稀薄とか申して居る  
 ようですが、親が子に、子が親に対する  
 感情の如き温かさを他国民より皇室に  
 対して遙かに感じてゐる国民であり国家  
 であつたことを吾々は何よりの誇りと居  
 たのであります。

戦後の今日に於ても吾々のこの感情は  
 少しも衰つて居りませぬ、もし衰つたこと  
 があるとするれば皇室及陛下と吾々国  
 民との間に分在して、まちがつた指導をし  
 た階級が無くなつて陛下と国民が文字  
 通り父子の義によつて、ぴったりと結ばれ  
 た新しい感覚であると思ひます。

陛下は決して神様ではありません、たとへ  
 御社に祀られてもそれは、正しくは陛下の  
 御陵であつて陛下そのものが神様である  
 わけはありません。

天長節とは天皇の御誕生日で聖壽長  
 かれと祈る国民の祝日であり、戦後天長節  
 といふ文字を際して天皇御誕生の日と  
 称するとき居りますが、元の通りの「天  
 長節」は何故いけなひのでせうか。天とぶ  
 字が神性に通ずるとも云ふなりは、天皇  
 とも言へないことにある。

我々は今迄通り天長節と唱へて、差しつか  
 へないと思ふし、間違つた考へ方ではないと  
 思ひます。間違つて居るのは、戦後の国  
 民議會でそういふ事を決めた議員達の  
 行ひすぎた感情と浅はかな頭脳です。

奉祝

天長節

## 早川製靴店

早川 榮 松

バストス市フレシテレンテベルガス街  
 郵函一五九

奉祝 天長節

人造石一般

## 石 碑 製造

バストス市街地(オ、クルス街)

杉 山 寅 藏  
 郵函二六一番

祝 天長節

## 奉 祝 パタリヤ

バストス市 プレシテレンテバルカス街

伴 藤 榮 登

奉祝 天長節

## ホニルカンパウロ

バストス市街地 郵函一一。

池 田 正 雄

紀元節を寤して見たり建国祭といつて見たり又紀元節を作ったり、見ている方が取かしくなる。全く衰れな議員の多いのには、是等乃敢意を表し度くなるのである。我々海外に在る者は故国の人々がそうと決めるれば、やむを得ず承諾するが議員たちには、もつとく、新し日本の意気の爲めに精神方面の洋化革新に力を入れて貰はぬとこまる。

天長といひ地久といひ何とひいさこの和い言葉ではありませぬか (菊一文字生)

御挨拶

私儀

高橋朝太郎氏の推薦により今度パワリスタ新聞社に入社致しパワリスタ線擔當外交員として働くことになりましたから宜敷しく御願ひ申上ホます

又この事に就て、慥ながら御盡力下さいました先輩諸氏に厚く御礼申上ホます

パワリスタ新聞購読者希望の方は、  
 当市代理人

前田 育人氏  
 浦 意 樹 氏

又は私 (森 重)

皆様の御都合の良い處に申込んで下さい。その中私、参上の節は、どうぞよろしく御配慮の程願上ホます

一九五二年四月

木林 重 清

ハストス左任者  
 各位

前代議士

中村 嘉 壽 氏 未植

去る四月廿四日鹿児島出身世界政府提唱家中村翁は七十三歳の高壽にも似ず長身にて頗るスマートなる姿をハストス産業会館にあらはし夜七時半より約二時半に亘つて長口を振った。民族移動の古いア史から説き起し東洋民族の優秀性を高揚し日本人の抱負と意氣を語り四百に余る聴衆に大なる感銘を与へた。(講演内容次号より)

奉祝 天長節

カーホ ビトリリア  
 内外雜貨書籍 文具具

**山本商店**

ハストス郵函 一六三  
 山本 一 男

西川中央薬局の美拳  
 市内中央薬局西川誠一氏は毎年新しい種痘を取寄せ無料奉仕しているが本年も種痘を開始している

遠慮なく申出下さいとのこと  
 勿論 無料 です

奉祝 天長節

移轉

**大賣出し**

弊店と此の度アエマルバロス街太郎田商店上隣に店舗新築致し去る四月廿二日より移轉開業致しました。就ては右所披露の爲め全商品割引奉仕致しますれば賑々しく御来店下され度申願上ホます

**前田吳服店**

追分本通り元の店は  
 ミシン等同じで営業致して居ります  
 パリワァ ミシン 代理店

前田吳服店  
 ミニシン 陳列場



續バストス音新

探偵実話

カクストローフイ

徳田球外は鹿見島の田舎大工だった  
がその頃(昭三三年)のフルブル渡航熱に  
あふれ義兄の上城が行って居るバスト  
スに行きたくてたまらず弟の卓治を口  
説いて渡航の支度をした。弟は渡伯は  
いやだったが家族構成の為の縁もななく  
承諾したものの一二年働いたら帰国させる  
からと兄との間に約束が成立して、しぶく  
伯國までついて来たが宣傳と実際は大  
ちがひ、ナエラカを死して来たから堪らない。  
暑くて金ももうかりず、サツペー小屋に起伏  
していたところで何時に存ったか日本へ帰へら  
れるかと人知れず紅涙(を)を絞っていたの  
である。彼は人並以上に働いてそれを  
自分の所得とし小金をためはじめたが、そ  
ればかりの金では到底帰国は出来ぬと、ろ  
かうふと気のついたのは兄貴の持所金目  
本日一千三百、伯偵七百、針、これに目  
をつけていたが中々機會がなかった。上城  
系に同居をして居ても室が沢山あるわけ  
でもなく卓治は獨身でも一室がもうへおし  
はうく我慢しろと兄夫婦の室に同居し  
たが之れが悪かった。郷愁といふと文  
学的だが彼はそれ以来陰鬱になつて物を考  
へ始めた。何とかして恋しい日本に帰らう  
と思ふ心に火がつき、遂に野望の  
計画をした。即ち自分が金ととて犯人は  
他にあるごとく設計し前途のようになり  
月のどきどきにまよひて実行にうつし、ナマ  
は上城の下に隠して知らぬ顔をしていた  
のである。その金をもつて逃亡すればすく  
に自分であることが判るので半持久戦を  
とつてあく迄知らぬ顔の半兵衛を極め  
決して自分の口から、よそへ行こうなどと  
は言はずに居た。そのじつ、かまえる態  
度より度胸なりが素人ぶるにがしいた  
為の燈台もしくらしのたとへ通りさうぼり  
判らなかつたのである。

宮迷りと有り一旦かぶつた霜出さんのぬれ  
衣は終生乾くことなかつた事だ  
あつた。無実の罪を背負つて一生暗い  
思いの爲めに至人を一頁が折しくそこ  
から描き付けたられたかも知れない。  
「やいおや、手前はそれ迄踏みにじられても  
その時、だまって奴を見放したのか」と一寸  
コフンしなから霜出さんの顔を睨み据える  
と彼は一寸淋し相に眼を伏せていった。  
「いいいやないか、弟の奴が白状するよ。  
俺は晴天白日だ」  
「奴さぶつたたけ」  
「叩いて流飲がさがるけエ？ 叩いて何に  
する」  
「を、おの」  
「ハッハッハッハッ……二十年前の事、物後  
りだ、おれや姉、この余り街路へセル、  
ドジャキ並べて、通行人に一人々々のんが、  
つたハ……いい氣持をた」 (終)

死亡御通知  
並會葬御礼

夫高井和一儀病氣養生中の處  
去る四月廿一日午後九時永眠  
致しました。翌日午後四時バ  
ストス、ホリス教會に於て告  
別式執行後バストス墓地に埋  
葬致しました。此儀生前辱知  
各位に謹言申上ります。尚当  
日は遠路態々御會葬下され過  
分の御香華花輪等御贈与賜は  
り難有く御願申上ります。左下  
畧儀紙上を以て挨拶抄上ります  
一九五三年四月廿二日

- 妻 高井 愛子
- 長男 高井 和夫
- 親戚 高井 啓五
- 代表 島本 藤吉
- 友人 霜出 貞美
- 武野 英雄
- 大野 貞雄
- 浦野 樹男
- 織田 守男
- 石橋 光雄
- 東野 福寿
- 山椒吟社 代表 柳子樹經
- 代 表 柳子樹經
- 柳子樹經
- 柳子樹經

# 輝くバストスの偉業

コチア産組ホ五周年記念農産品  
 展覧會に於て稀有の榮譽を占む

コチア産組バストス倉庫主任田中 穰氏の幹  
 後によりコチア農産品展覧會にバストス  
 り出品した数は百八十数点に上ったが審査の  
 結果一等五名 二等四名 三等五名 優秀  
 六名の多数の入賞者を出し、あつはれ名門  
 バストスの名を全伯に輝かした  
 入賞者名を左の通り

一等賞	アバカテ	P	佐野万太郎
〃	アルゴドン	F	豊島 比一
〃	高	E	虎岩 親寿
〃	メンドオン	Ⅳ	三宅 初治
〃	竹がご細エ	中	長瀬 國松
二等賞	アルゴドン	C	中崎 武夫
〃	高	Ⅳ	三宅 初治
〃	タンベリナ	P	佐野 万太郎
〃	高	Ⅳ	岩橋 茂人
三等賞	ホンカン	C	山中 三郎
〃	高	A	伊藤 完一
〃	高	A	アトニオミランダ
〃	メンドオン	C	山本 三郎
〃	メンドオン	C	渡 辺 孝
〃	メンドオン	P	中 原 進
〃	アルゴトン	F	白須 千之助
〃	高	E	西見 政行
〃	高	A	子 削 敬太
〃	高	中	橋本 光義
〃	高	E	中 島 比一

追而來り五月五日正午より賞状賞  
 品並に参加章(メダル)授與式挙行  
 残り御参集ありたしとの事である  
 (同展覧會參觀記 次号に掲載)

## ニユーハンスシヤの種鶏

一八〇日にて三キロ余といふ立派なものを  
 何羽でも分譲いたします(一羽八〇針)  
 種鶏として養育されたものの餘分な地帯  
 の交雑に用いて最も効果があります  
 ニューハンスシヤ  
 クラウシヤ  
 菅 井

奉 祝

天長節

内外雜貨

インジオ印  
 カフェーエンボウ

前山商店

バストス市街地 フレシテバルガス街

郵便 二五

前山 義 雄

節 天長 奉 祝

御進物 贈答用 菓子折一式

三野製菓所

バストス 市街地 フレシテバルガス街

郵便 No. 29 三野 善一

春 祝  
天 長 節

天 鐵 城 足 身



橋本各種製建場

八下不市郵函五。

橋 本 光 義

奉祝 天長節

バストス發電所

石橋農具研究所

バストス市 郵函 二六

石橋 長 見

外 従業員 一同

奉祝 天長節

池内文房具店

各種レコード  
進物用品 一式

バストス市街地 池内藤氏  
C.P. 二一六

節 時計 オカ代理店

高田時計店

奉祝 天長節  
メカネ各種  
バストス市 郵函 一〇

奉祝 天長節

トナツトール  
フオート

バストス代理店

木林 田鉄工場

木林 田 三男

バストス市 アテマルバロス街  
郵函 一八

DENTISTA T. OKUDA

奉祝天長節

奥田  
科齒  
医院

バストス市ケテマルハロス街

本田バールと西洋藥局との間へ

移轉しました

奥田 耕

郵函 三番

奉祝天長節

バストス  
製材所

喜多徳之助

古田義松

後藤利一

吉川一馬

佐藤福太郎

御通知

期日 五月四日 午後一時 午後七時 晝夜二回

場所 バストス産業會館

佛教講演會 法話

京都西本願寺伯國開教總長

湯川汝劫師

今回本願寺より併縁に依り伯國開教總長湯川汝劫師が来植せられまして法話御講演下さることとなりました。宗派宗門と問はずに之を御誘合はされ御参列御聴聞あらんことをお希ひ致します

バストス

佛教支那人

天長節

祝 奉

ブナ製糸会社

バストス工場

郵 函 三九



天長節

バストス  
イアクリ  
間

上下汽車連絡

奉祝

アルトロツタソン組合

時間正確  
乗客本位  
親切丁寧

手ノ場合ハ遠慮ナク  
御申込ニ下サイ

祝 天長節

カーサコロニア

重道 永 榮

内外雜誌  
書籍レコード  
バス  
郵函八九

奉祝 天長節

バサールホシホ

守越 外 治

バス市街地  
郵函 一〇五

奉祝 天長節

落亀裁縫

女學校

本校ハ質実剛健ヲ

モットー トス

普通科 六ヶ月

速成科 三ヶ月

研究科

寄宿舎、設備アリ

昭和新 代理店 落亀  
和 團 バトス 又 ス 店

ウニオノ薬局

奉祝 天長節

板垣寿勢雄

バトス市 郵便一三九

アテマルバルロス街角

祝 天長節

農産物仲買

木杯谷商店

木杯谷 清

バトス市街地郵便三三

奉祝 天長節

農産物仲買

佐藤 勇

郵便 二八〇番

バトス市ドックキネクスアス街角  
アテマルバルロス

奉祝 天長節

ハサキキング

木林 辰市

郵便 一三五

バトス市 アテマルバルロス街

バトス少年野球軍

リンズ 遠征の壮図

バトス、リンズ、及アラナツバ 三市對抗少年野球リーグ戦は春五月四日リンズ球場に開催されることとなりわがバトス少年軍は林武七、佐竹時春、両氏に引率されて来る三日遠征の途に上る由 フレッシュバトス。

祝 天長節

ホストセツテ

林 武七

自動車用

点燈用

ガムリーナ

ラジオ

スライダーカー自動車各種

自轉車

營業種目

奉祝天長節

# 桑元齒科医院

バストス市街地

桑元貞生 (郵函一三七)

祝  
天長節

バンデイヤンテ  
産業業  
組合

バストス出張所

郵函一七五

奉祝天長節

パール  
水口  
ソルベツテ

バストス市ドックエネカシマス街

御進物贈答品

水口 務

御折り、来る五月四日発行の本週報  
日印刷機修理の爲め休刊致します  
悪からず御諒察下さい (係)